

ラヂオきしわだ番組審議委員会第十六回議事録

開催日時 平成 25 年 12 月 20 日 14 時半から 15 時半

場所 ラヂオきしわだ事務局

ご出席委員	片山智信	ご欠席委員	杉本昇
	谷口真澄		芦田有香
	永谷裕久		
	近松健二		
	西村静代		

放送局長 八木雄一郎 同席

事務局長 北野忠夫 同席

理事 片山陽子 同席

1.番組編成概要

番組審議委員長の片山智信氏が開会を告げ、八木局長から、来月また少し変更があることを付け加えながら最新の番組表をお見せし、現在放送中、及びこの先の番組編成概要を以下のように紹介した。

- ① 今月 12 月より火曜日午後 8 時から笑福亭飛梅さんの「飛梅のアップアップ night」が始まっていること（後で実際に聞いて頂いた）を紹介。飛梅さんは笑福亭松枝さんの弟子。
- ② ユニットの発展的解消により番組をおりることになったファビュラスの「fab な音楽」に替わり、来年より水曜日の午後 9 時からの Mr. Shin が番組をもつことになっていることを紹介。
- ③ 12 月 31 日に 3 年目となるカウントダウン・イベントを予定している。これは岸和田市の後援イベントであり、各番組のレギュラー出演者で南海岸和田駅のロータリでライブを開催し、22 時開始で、ラヂオではスタジオとつないでライブの様態を放送する。
また新年の零時以降、天神宮、岸城町神社からの初詣中継、インタビューの様態なども放送予定。
- ④ 2 月には昨年に引き続き「泉州国際マラソン」の中継を予定しており、内諾を貰っている。
このように中継番組作っていきたいと考えている。
- ⑤ 来年元日にある「程さんのほのぼのキッチン」に新市長の信貴芳則さんの出演を予定していることを紹介する。これに対して片山委員長より、「程さんは岸和田のことを知っているのか」という質問があり、「程さんは 2 年間放送をしているので、かなり分かっています。プロフィールは渡しておきます。今回の出演は信貴市長が製菓専門学校の校長をしていたということもあり、また大病を経験したというような観点からの話で、市民への抱負を語るものではない」と説明する。市民へのメッセージは「新年のご挨拶」として、例年通り、市長、商工会議所会頭、JA 理事長に登場していただくことになっていることを説明する。

「ラヂオきしわだの存在は知っていてもなかなか聞かないというのが現状だと思う」という片山委員長の話にたいして、八木局長から、岸和田の広報紙に「災害時のことも含めてラヂオきしわ

だを聞いて欲しい」というメッセージを載せてもらいたいと市に依頼していると一つの策を紹介した。

2.ご審議頂く番組

一つは前述の「飛梅のアップアップ Night」をきいて頂く。片山委員長よりやはりプロだから分かり易いが何を話すのか決めているのか。例えば楽屋話なのか。話題のコーナーを際立たせたほうがいいのではないかとのご意見があった。八木局長より「今はまだ放送になれて頂く段階で、今後考えていく」との返答があった。

もう一つは「子育て支援ラヂオ しあわせのレシピ」で大宮公民館の館長の長谷川秀美さんがパーソナリティを勤め、子育てを支援する、心理カウンセラーや、子育てサポーター、自主学習グループの方々をゲストを迎え、子育て世代のお母さんをサポートする番組です。ラヂきし開局以来続く番組をきいて頂いた。いいんじゃないですかとのご意見があった。

3 番組放送及び番組に対するご意見

谷口委員より市長が替わった時であり、「魅せましょ岸和田」をキャッチフレーズにしており、三世代が支え合って暮せる町をアピールし、若い人を登用する方針と聞いているという話があり、八木局長より新市長はメディアに関心があると思うという話をし、議会中継等の市政についての番組を作ってもよいと考えていると話した。

近松委員よりもうちょっと外へ出て、サテライトから放送するようにしたらいというご意見があった。また片山委員長からも「町じゅうがスタジオというのが地域のメディアの正しい方向ではないか」とのご意見があった。これに対して、八木局長よりマンパワーが不足しているので、なかなか難しいとの返答があった。また中継は携帯電話を使用しているが、回線の都合で音の質のバラツキがある。スカイプ、WiMaxの回線を使っている、ライブなど音質重視のものはWiMaxを使うようにしていることを紹介し、駅前にぎわい市の中継についてはそれだけでは賑わいがないので、他の催しものが併設される時には11時から1時の時間帯で中継していることを紹介する。

永谷委員より、今のライフスタイルでは単にラヂオを聞いているだけではなく、パソコンで作業をしながら聴いている方が多いと思うので、ホームページの充実が聴取率を取る事に繋がるのではないかとのご意見があった。放送中の写真を載せたり、出演者のプロフィールを充実させることや、フェースブックにアップすると反響があるので、パソコンをしながら聴けると言うことをもっとアピールすべきだと思うというご意見があった。これに対して局長より充実するように考えていくとの返答をした。

谷口委員より、市との関係を旨く繋ぐため、新年の市や商工会議所の互礼会などラヂオきしわだのPRに値打ちのある所で、人と人の出会いを大切にすることが大切という話があり、局として参加しておいた方がよいとのご意見があり、八木局長が互礼会に申し込んでいることを説明する。またアーティストやミュージシャンが浪切ホールでの公演のあと、インタビューができないか、浪切ホールの館長である近松さんが番組審議委員会の委員でもあり、コラボレーションを考えたらとのご意見があった。

今回の番組審議委員会を来年2月21日金曜日、午後2時半より開催することを確認して閉会した。

以上